

中川運河で水質一斉モニタリングを行いました！

平成26年11月8日（土）に、長良橋をはじめ6地点で水質一斉モニタリングを行いました。当日は18人の方に参加していただき、盛況となりました！

橋から水をくむ体験もしたよ！



くんだ水で水質調査をしました



調査の結果について、中川運河の調査・研究をしている本市研究員から解説がありました！

市で行っている調査から、中川運河の水質は水に溶けている酸素の量に大きく影響されていることがわかってきました。

みなさんの調査結果から、北に行くほどにごまっていることがわかります。



CODが高い(よごれが多い)地点やにごっている地点は、クロロフィルa、つまり植物プランクトンがたくさんいるようですね。

プランクトンが多すぎると水の中の酸素もたくさん使われてしまい、川が持つ“水を浄化する力”が損なわれてしまいます。

みなさんに調査していただいた結果（概要）

地点名	水温	COD	pH	透視度	水の色	におい
長良橋	17.3	4	9.0	27	淡黄褐	なし
篠原橋	17.6	8以上	8.0	42	淡乳白	なし
昭和橋	18.0	4	8.5	82	淡黄	少し
東海橋	17.3	4	8.7	43	淡緑褐	なし
いろは橋	17.0	4	8.5	100	なし	なし
中川橋	21.0	2~4	7.7	88	なし	土・藻

公定法による分析結果

地点名	水温	COD	pH	透視度	クロロフィルa
長良橋	18.0	11	8.7	28	170
篠原橋	17.0	9.1	8.6	42	130
昭和橋	17.0	6.7	8.4	>50	63
東海橋	17.0	6.6	8.5	>50	56
いろは橋	17.0	6.7	8.5	>50	67
中川橋	20.5	2.9	7.9	>50	14

ペットボトルを利用したろ過装置をグループごとに手作りし、墨汁をろ過して透明にする実験をしました。また、「ろ過」のしくみについて学びました！

《上手くいった例》

墨汁が透明になったよ！



30分後

ろ過後の
墨汁

ろ過装置を手作りし、
墨汁をろ過しました。



30分後

ろ過後の
墨汁

《上手くいかなかった例》

色が残ったまま！



この違いは何だろう？



墨汁の色が残ったままになったのは、流した墨汁がきちんと「ろ過層」を通過していなかった可能性があります。その場合は層の間にある「空気」を抜くことで「ろ過層」を通ることができるようになり、墨汁を透明にすることができます。

参加者の声・ご意見等

水の浄化実験は子どもから
シニアまで楽しめてよかった。

普段訪れる事のない中川運河を
身近に体験できた事はよかったです。

内容は興味を引く内容でわかりやすく、
あっという間に時間が過ぎました。

新聞でも紹介されました！
11月12日中日新聞朝刊
(市民版)に掲載されました。

名古屋市では、平成17年度から市内の河川・ため池などの水質を公募で集まった市民の皆さんに調査
していただいています。

調査結果などは名古屋市公式ウェブサイトで公開中です！

<http://www.city.nagoya.jp/index.html>

環境市民モニタリング

検索